

わくや万葉の里 天平ろまん館

今からおよそ1250年前、東大寺に盧遮那仏(大仏)建立をすすめていた聖武天皇が仏身に塗る黄金の不足に苦慮していたとき、陸奥国守百済王敬福が小田郡から採取した砂金900両を献上し、無事大仏様を完成させることができました。



聖武天皇はこの日本初の産金を大いに喜ばれ、年号を「天平」から「天平感宝」に改元し、さらにこれを伝え聞いた越中国守大伴家持は「すめろきの御代栄えむと東なるみちのく山に金花咲く」の歌を万葉集に残しました。

この陸奥國小田郡の産金地こそ天平ろまん館の建つ黄金山一帯で、「日本最古の産金地・奈良大仏さまのふるさと・万葉最北の里」の歴史ロマンを今に甦らせています。



団体食(1,050円から)

130席対応可能
お気軽にご相談ください。



砂金の輝きをこの手に(体験施設)

天然砂金をどなたでも気軽にゲット。
もちろん採った砂金はあなたのもの。
※冬季は温水設備で。



国史跡と黄金山神社参拝

お時間の都合に合わせて、隣接する史跡公園をご案内します。金の茶室「くがね庵」では抹茶も味わえます。

*** information ***

- 開館時間 / AM9:30~PM5:00(11月~3月はPM4:30まで)
- 休館日 / 年中無休
- 駐車場 / 大型バス(10台、乗務員休憩室完備)・乗用車(80台)

区分	歴史館入館料 (団体棟料金)	砂金採り体験 (団体棟料金)	歴史館+砂金採り体験共通券 (団体棟料金)
一般・大学生	500円 (450円)	600円 (550円)	1,100円 (1,000円)
小・中学生 高校生	200円 (50円)	500円 (450円)	700円 (500円)

※ 団体は、10名様以上。砂金はお持ち帰りできます。

交通アクセス

国道346沿だからお手軽アクセス

松島~気仙沼間、石巻~古川間を結んだ国道中継地点にある国道に面した施設です。赤い柱の建物が目印。

東北道 古川IC

40分

天平ろまん館

60分

南三陸ホテル観洋

三陸道 松島北IC

30分

三陸道 石巻河南IC

30分

ご説明 ご案内

〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町字黄金山1の3
TEL 0229-43-2100 FAX 0229-43-2109

<http://www.tenpyou.jp/>